

2013(平成25)年度 社会福祉法人いのちの電話概況

2014年3月現在

設 立	1971(昭和46)年10月1日開局	活 動 内 容	電話相談 インターネット相談(1996年10月開設)
法 人 認 可	1973(昭和48)年12月		医療相談 フリーダイヤル(毎月10日)
組 織	理事10名・監事2名・評議員21名	相 談 員 養 成	年1回公募
相 談 員 実 働 数	310名	相 談 員 研 修	継続研修、講座随時
認 定 者 累 計	1,784名	運 営 費	年間経費:約4,000万円
受 信 件 数	28,276件(2013年1月~12月)	機 関 紙	広報誌「いのちの電話 東京」 内部誌「ボランティア」
	男 11,697件 女 16,579件	関 連 団 体	一般社団法人 日本いのちの電話連盟 日本自殺予防学会
総 受 信 件 数	開局以来累計:1,196,628件		
相 談 時 間	24時間(年中無休)		

2013(平成25)年度 相談の実態とその傾向

電話相談の統計から

2013年度の電話相談は28,275件(男性11,697件、女性16,579件)であり、前年の27,517件より759件増加した。電話相談を利用する年代は、40代が最も多く、次に50代、30代の順であった。人生半ばにあつて自身の体調や家族を含む対人関係、就労困難等、複数の問題をひとりで抱え、先の見えない苦しさを訴える相談が絶えなかった。前年度急増した自殺志向の相談については今年度も18.8%と高い数値となり、精神的危機に直面した状況下で電話をかけてこられる方も少なくなかった。
 ＊平均通話時間：32.0分(男性 25.0分、女性 38.0分)

表1 電話相談 年代別件数

	男性	女性	2013年 合計	2012年 合計
10代	410	174	584	450
20代	1,412	1,566	2,978	2,787
30代	2,239	3,328	5,567	5,416
40代	3,067	4,127	7,194	7,645
50代	2,185	3,696	5,881	5,682
60代	715	2,149	2,864	2,824
70代	347	496	843	433
不明	1,322	1,043	2,365	2,280
合計	11,697	16,579	28,276	27,517

図1

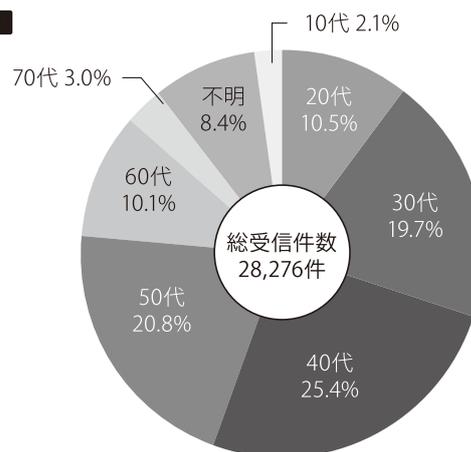


表3 電話相談 問題別件数

	男性	女性	2013年 合計	2012年 合計
人生	2,750	3,877	6,627	6,605
思想・人権	124	92	216	202
職業	954	672	1,626	1,567
経済	248	162	410	426
家族(含親族)	776	2,964	3,740	3,376
夫婦	339	1,171	1,510	1,505
教育	44	106	150	171
対人	905	1,974	2,879	2,867
男女	685	880	1,565	1,407
身体	491	791	1,282	1,388
精神	2,184	3,218	5,402	5,600
情報	119	164	283	262
その他	2,078	508	2,586	2,141
合計	11,697	16,579	28,276	27,517

図3

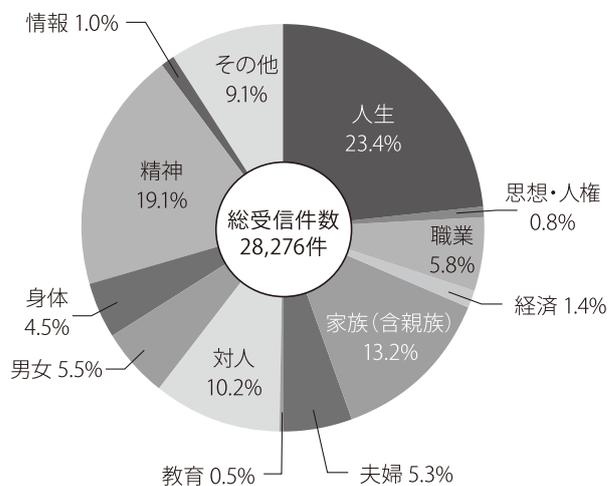
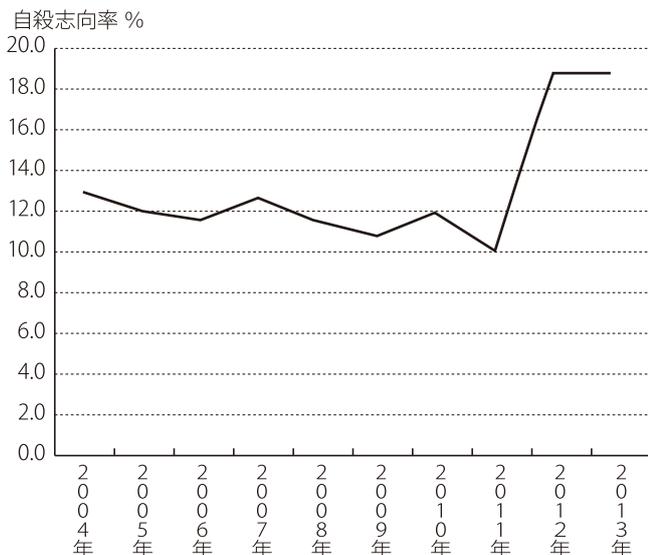
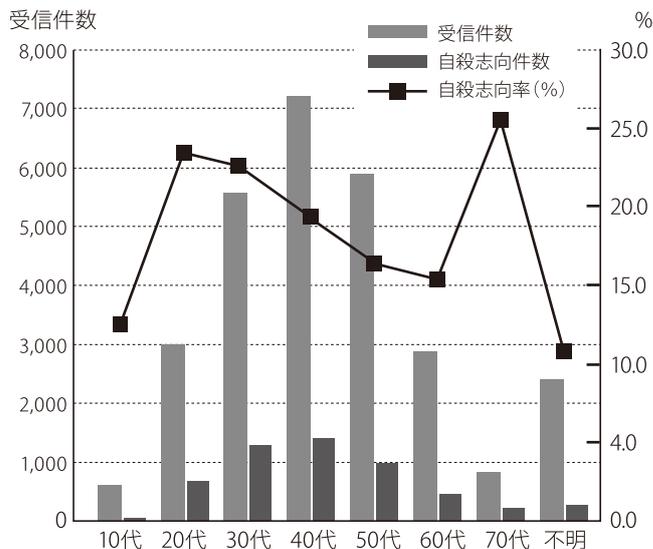


表3 電話相談 10年間の自殺志向率



	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
受信件数	28,167	28,589	27,917	27,462	28,881	29,551	28,987	28,377	27,517	27,517
自殺志向率 (%)	13.0	12.0	11.7	12.7	11.6	10.9	12.0	10.2	18.8	18.8

図3 電話相談 年代別受信件数と自殺志向率



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
受信件数	584	2,978	5,567	7,194	5,881	2,864	843	2,365
自殺志向件数	74	700	1,268	1,402	971	439	216	269
自殺志向率 (%)	12.7	23.5	22.8	19.5	16.5	15.3	25.6	11.4

土曜医療相談 2013年1月～12月

2013年も毎週土曜日、14時から17時の3時間、カトリック医師会、キリスト者医科連盟の医師によって、毎週土曜日午後2時～5時に行われている。

昨年度の相談件数は366件、うち男性95名、女性271名と女性が多く、男女比は1:2.8(男性26%、女性74%)であった。月毎の平均通話数は約30件である。

科目別では、精神科と内科、心療内科に関する相談が多いが、相談の内容は、これまでと同じく、総合的、複合的、慢性的な悩みであり、すでに医療機関にかかっている方からの相談が多いという傾向が見られる。

【科目別】

	男性	女性	合計
精神科(心療内科)	54	159	213
内科	19	53	72
外科(整形外科)	11	42	53
婦人科・産婦人科	1	13	14
泌尿器科	0	0	0
皮膚科	3	7	10
耳鼻科	0	3	3
歯科	0	14	14
眼科	1	3	4
小児科	0	0	0
性について	2	1	3
エイズ	0	0	0
健康相談	1	3	4
美容整形	0	1	1
その他	8	23	31
合計	100	322	422

【月別相談件数】

	男性	女性	合計
1月	8	19	27
2月	13	19	32
3月	14	25	39
4月	10	18	28
5月	7	13	20
6月	7	40	47
7月	9	22	31
8月	6	26	32
9月	4	29	33
10月	7	19	26
11月	6	18	24
12月	4	23	27
合計	95	271	366
2012年度			359
2011年度			393

平均通話数:30件 男性:26.0% 女性:74.0%

フリーダイヤル

毎月10日、全国のセンターをオンラインでつなぎ、フリーダイヤルで電話を受けている。自殺志向が高いこと、男性からの相談が多いことが特徴となっている。 平均通話時間:20.0分(男性18.0分、女性25.0分)

	男性	女性	2013年合計
相談件数	467	333	800
自殺志向数	152	129	281
自殺志向率 (%)	32.5	38.7	35.1(平均)

インターネット相談

2013年度のインターネット相談は盛岡、仙台、奈良、福岡、愛媛、東京の実施6センター全体で3,274件（男性1,171件、女性2,103件）の相談に応じた。前年の3,051件より僅かながらではあるが増加することができた。内、東京センターで対応した相談は1,357件（男性483件、女性874件）であった。

ネット相談を利用する年代は開設以来20代が最も多く、今年度も10代～30代の若年層が約74%と傾向に変化は見られなかった。利用者の性別についても女性からの相談が6割以上と、これまでと同様の状況が続いた。

また相談の自殺志向についても39.8%と依然として高い数値となり、若者の益々深まる孤立化を背景とした危機的な内容の相談も多く寄せられた。

図5 インターネット相談年代別

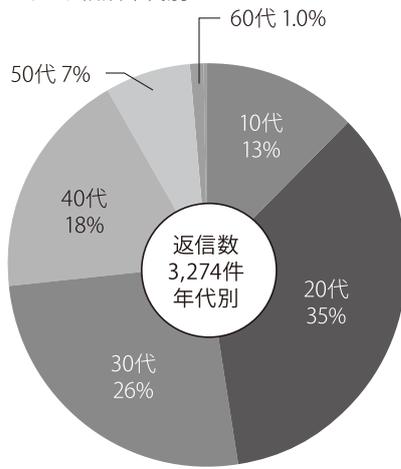
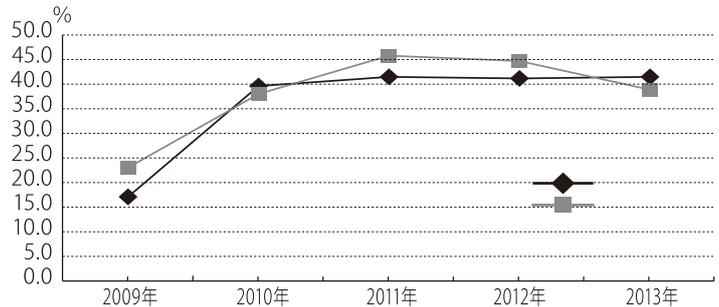


図7 5年間の自殺志向率



	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
件数	1,442	1,797	2,675	3,051	3,274
男性	17.1	39.5	41.3	40.9	41.3
女性	22.7	37.9	45.6	44.6	38.9
全体	20.9	38.7	43.9	43.1	39.8

図6 インターネット相談問題別

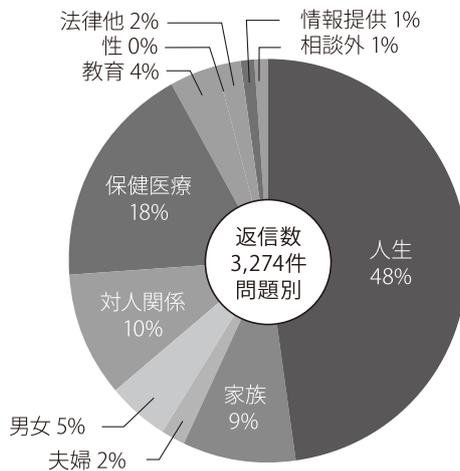
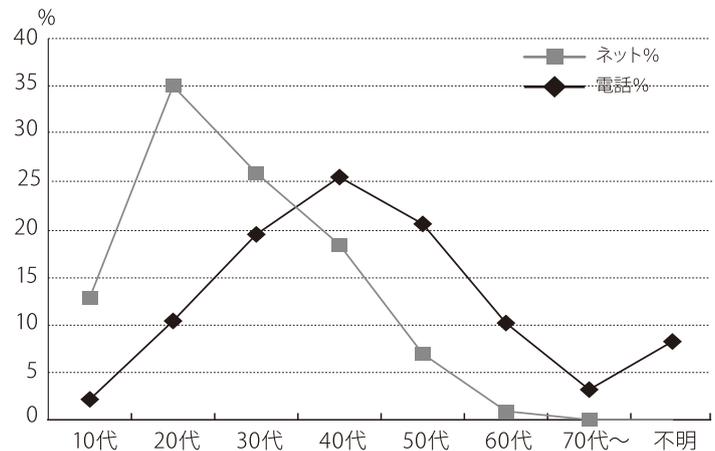


図8 電話相談とネット相談利用者の年代別比較



2014(平成26)年度 事業計画・役員

I 基本方針

1. 相談活動の実態に即した相談事業の安定的実施
2. 相談体制の強化及び検討済み事項の実施
3. 組織の整備と運営の適正化
4. 活動への理解と支援拡大に向けての取組
5. 社会・外部組織との積極的な関係作り

II 具体的活動計画

1. 相談活動の実態に即した相談事業の安定的実施
 - 1) 電話相談 ●電話相談の年中無休24時間体制を維持継続する。
 - 2) インターネット相談 ●インターネットによるメール相談を維持継続するとともにシステムの再構築に向けての準備をする。
 - 3) 土曜医療相談 ●協力医師による毎週土曜日の電話医療相談を継続する。
2. 相談体制の強化及び検討済み事項の実施
 - 1) 相談活動の実態分析と組織全体での問題意識の共有
 - 2) 組織の役割と活動内容の再確認
急速に変化しつつある社会の中でのいのちの電話の役割を明確にし、具体的施策の実施に向けて議論する。
 - 3) 電話相談員の募集体制の見直しを改めて検討する。
 - 4) 電話相談員の養成体制の見直しについて、検討済みの改善点を実施する。
 - 5) 電話相談員のケア体制を継続する。
 - 6) 電話相談員の継続研修の見直しを検討する。
 - 7) 電話相談員の誓約事項の遵守と負担軽減による活動内容の活性化を図る。
3. 組織運営の整備と運営の適正化
 - 1) 長期計画の実施 ①施設の検討 ②事務局体制の改革
 - 2) 組織運営の透明性を確保しつつ、円滑化を図るために、規則等の整備体系化を継続する。
 - 3) 相談員が主体的に組織運営に関わるような体制作りを継続
4. 活動への理解と支援拡大に向けての取組
 - 1) 健全な財政を維持するための募金その他の活動
 - 2) 後援会主催のチャリティ行事等の実施への協力
 - 3) 広く理解、支援を得るために、常時積極的な広報活動に取り組む
・事業報告、寄付感謝報告の発行。・広報誌の年2回発行 等
5. 社会・外部組織との積極的な関係作り
 - 1) 各種の相談ネットワークとの関係づくり、紹介先の再検討
自殺予防支援ネットワーク(東京都主催)との連携協力
 - 2) 日本いのちの電話連盟及び他のセンター等との連携、協力
 - ①2014年度厚生労働省補助事業自殺防止対策事業参加
●毎月10日 8:00～翌日8:00に実施されるフリーダイヤルへの参加 ●第39回日本自殺予防シンポジウムへの参加
 - ②第32回いのちの電話相談員全国研修会群馬大会への参加
 - 3) インターネット相談における他センターとの連携協力(相談事業、研修、広報活動等)

役員名簿

任期 2014年1月25日～2016年1月24日

2014年4月1日

理事 計10名		いのちの電話後援会理事 (株)S.C プランニング顧問、いのちの電話後援会理事 団体職員	
大瀧 京子	相談員	上村 明子	相談員
倉本 英彦	精神科医	岡村五十男	杉並聖真ルーテル教会牧師
佐合 信子	社会福祉法人いのちの電話事務局長	尾形婦志子	明治学院大学社会学部教授
穴戸 信次郎	相談員	加藤 泉	日本YMCA同盟監事、東京YMCA理事
清水 康之	NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク代表	北川 逸英	社会福祉法人荒川区社会福祉協議会、
豊島 まき子	相談員	久保 美紀	NPO法人VCAS理事
中村 武照	(株)西部日化代表取締役社長、 いのちの電話後援会会長	郡山 千里	カトリック医師会、産婦人科医師、
林 義子	宗教法人カトリック煉獄援助修道会	清水 和良	順天堂大学・東京女子大学非常勤講師、医療相談員
樋田 大二郎	青山学院大学教授	高瀬 幸子	社会福祉法人埼玉いのちの電話理事・評議員
森野 嘉郎	弁護士	谷口 尋子	医療相談員
監事 計2名		中村 清純	相談員
佐藤 治隆	弁護士	日比野克彦	相談員
冨部 直希	税理士	堀 肇	鶴瀬恵みキリスト教会牧師、聖学院大学大学院非常勤講師
評議員 計21名		幕内 英明	相談員
飯島 睦子	立教大学学生相談所	松浦 郭介	会社員
石島 武一	社会福祉法人聖ヨハネ会桜町病院名誉院長、 日本カトリック医師会名誉会長、医療相談員	望月 和子	相談員
		山崎 隆	相談員
		矢永 由里子	慶応義塾大学医学部感染制御センター講師、 臨床心理士
		余語 毅男	秋津療育園医師、医療相談員

後援会

いのちの電話後援会は、社会福祉法人いのちの電話の財政基盤を支え、支援の輪を広げるために、また会員相互の親睦を図ることを目的として組織されています。

寄付金募集の協力、広報活動、財政支援事業(チャリティバザー、映画会、コンサート、落語会など)の実施、センター内での相談員の便宜を図るために食料品や関連図書、古本、フォトはがきの販売、手作り手芸品の制作販売、また書き損じはがき、未使用切手の収集を行っています。

2013年度 チャリティ事業報告

- 5月10日(金)映画会「ミッドナイト・イン・パリ」(アメリカ)昼・夜2回上映(銀座プロッサム)
コミカルなラブコメディを上映しました。
- 10月26日(土)バザー(東京ルーテルセンター)
毎年、東京ルーテルセンターのご協力をいただき、1階と2階を主会場にバザーを行っています。
- 12月13日(金)天満敦子ヴァイオリンコンサート
素晴らしいヴァイオリンの音色と、演奏の方々のお人柄に心温まる音楽会となりました。



2013年度 活動実績

- 映画会収益: 469,311円
- バザー収益: 950,655円
- コンサート収益: 1,405,925円
- その他物品の販売

2013年度 寄付実績

社会福祉法人いのちの電話へ300万円寄付

2014年度 チャリティ計画

- 7月 4日(金)映画会「最強のふたり」14時・19時からの2回上映
場所:銀座プロッサム
- 10月18日(土)バザー10:30~13:30
場所:東京ルーテルセンター

所在地:社会福祉法人いのちの電話内

後援会理事

任期 2014年4月1日から2016年3月31日

2014年4月1日

理事
計17名

中村 武照	岡原 映子	渡辺 富子	小澤 格	山田 忍
高村 治子	佐々木 撰三	佐合 信子	神田 佳和	
田部 誠	三崎 由美子	上村 明子	八村 悠紀子	
岡内 泰子	細田 満男	岡村 五十男	柳下 弘	

監事
計2名

新井 英明
正野 建樹

ご支援ください

いのちの電話は、相談員の無償の奉仕で支えられていますが、研修費、広報、事務費、借室料など年間約4,000万円の運営費が必要です。その運営費の大部分が皆様からの尊いご寄付に頼っています。

ご寄付は個人、法人ともに税制上に優遇措置があります。

皆様からのご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

寄付の
送金先

【郵便振替】 00140-3-162972 社会福祉法人 いのちの電話

三菱東京UFJ銀行 神保町支店 普通 1084827

社会福祉法人 いのちの電話